

EV充電インフラ整備促進事業

2023年度予定事業

背景・目的

県ロードマップに掲げるEV用充電器の整備を促進するため、「栃木県EV・PHV充電インフラビジョン」に基づき、民間事業者と連携し取組を強化するとともに、交通量が少ないなど優先順位が低い「空白地域の解消」や、交通拠点である「道の駅の整備」に重点的に取り組む。

事業概要

- 補助対象 空白地域又は道の駅への急速充電器の設置
- 補助率 2/3以内（市町が設置する場合は1/2以内）
※国庫補助除く。
- 補助上限額 2,000千円

期待される効果

充電インフラの充実により、EV・PHV購入に対する不安を解消することで、EV等の普及促進を図る。

【主な設置箇所】 重点的に整備を進める箇所

種類	設置箇所	施設数	設置数 (2022)	整備目標 (2030)
急速 充電器	高速道路SA・PA	16	161基	500基
	道の駅	25		
	空白地域※	約30		
普通 充電器	GS、ディーラー、コンビニ 等	約1,800	323基	2,000基
	宿泊施設、レジャー施設等	約2,300		

※公道上道のり15km以内に急速の公共用充電器がない地域

ロードマップ推進事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー
ニュートラクくん

背景・目的

「栃木県カーボンニュートラル実現条例」の制定を契機に、2050年カーボンニュートラル実現に向け、オール栃木で取り組む気運を醸成していく。

事業概要

県内の事業者等が行う、特に優良なカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実施ゼロ）の取組について、有識者等で構成された審査会を経て決定の上、表彰するとともに、その取組を県のHPや新聞記事広告に掲載し広く紹介する。

対象者

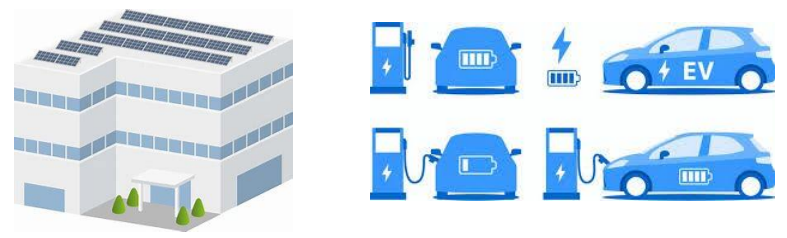
栃木県内でカーボンニュートラルの取組を行っている法人・団体・個人

募集する取組

温室効果ガスの排出削減又は吸収する取組で、創意工夫や独自性があり、他者への拡がり期待できるもの

期待される効果

カーボンニュートラルの理解促進・気運醸成



公共交通バスEV化促進事業

2023年度予定事業

背景・目的

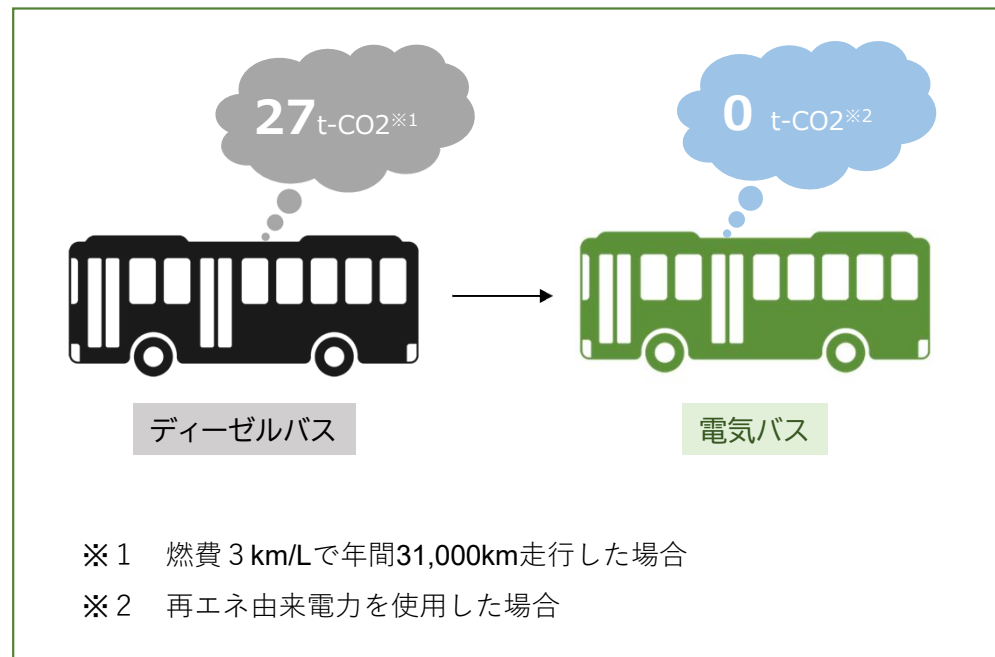
県ロードマップに掲げる商用車等の電動化を促進するため、県内で実施される電気バス向けエネルギーマネジメントシステム開発実証事業において、導入される電気バスや充電器等に対して支援を行うことで、交通分野の脱炭素化を推進する。

事業概要

- 補助対象 電気バス、充電設備、電源設備
- 補助率 補助対象経費の3分の2から国庫補助金を除いた額の2分の1

期待される効果

- 温室効果ガスの排出削減
- 市街地を走行することによる電気自動車の優位性の発信



環境配慮型・観光MaaS活用交通モデル構築事業

2023年度予定事業

背景・目的

奥日光地域では、観光客による渋滞が発生し環境負荷が増加しており、渋滞緩和と環境負荷低減のための二次交通の利便性向上を図る。

事業概要

日光地域における環境配慮型・観光MaaS活用地域交通モデル構築事業の一環として、奥日光地域においてEVが周遊できる環境を提供する。

設置場所

県営駐車場（華厳第一駐車場、赤沼駐車場）
・EV急速充電器 各1基（無料）

期待される効果

MaaSと連携してEV等の普及を図ることで、域内周遊の利便性が向上するとともに、交通の電動化によりCO2排出量が削減され、環境にやさしい観光地としてのブランド化を実現する。

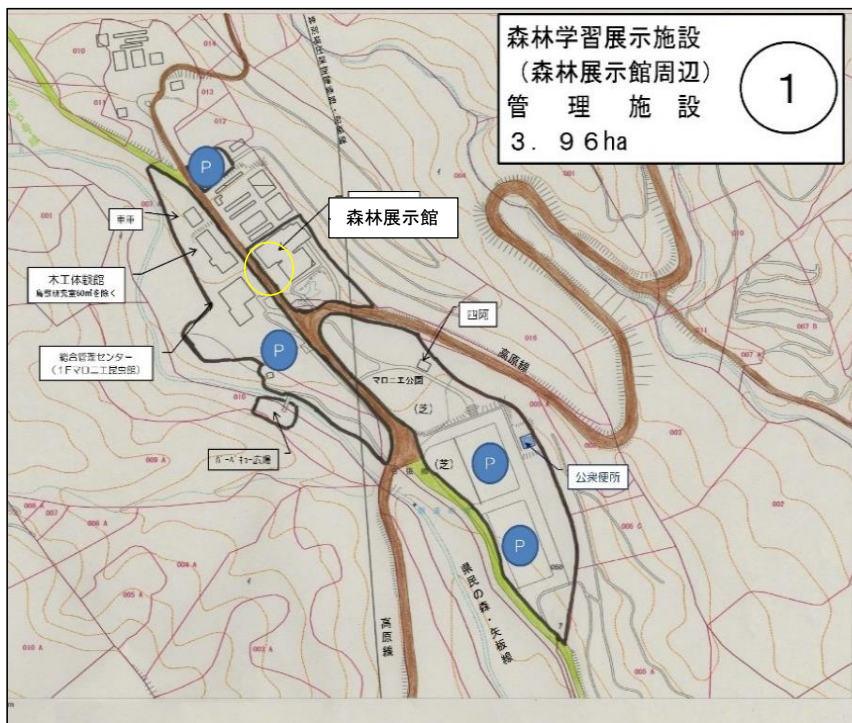


栃木県県民の森施設整備事業

2023年度事業

背景・目的

栃木県県民の森森林展示館の照明設備を更新することにより、電力消費量の削減及び機能回復を図る。



事業概要

(1)森林展示館 灯具の改修 (水銀灯→LED)

○ 森林展示館フロア



○ 森林展示館外部



期待される効果

- ・ 温室効果ガスの削減
- ・ 利用者の利便性の向上

サイクリング促進事業

2023年度予定事業

背景・目的

日光国立公園内には、魅力的な観光スポットが広範囲に多数点在しているため、自動車での移動が中心となっており、交通渋滞や排出ガス等、環境負荷の増加が大きな課題となっている。そのため、国立公園内を快適に移動することのできるEバイクを導入し、環境負荷の低減を目的とする。

※Eバイク：電動アシスト自転車のスポーツバイク版

事業概要

R3年、R4年に那須高原、塩原温泉、奥日光で構築した貸出拠点の機能強化及びテレビ番組やSNS等でセルフガイドEバイクツアーのPRを実施する。

期待される効果

温室効果ガスの削減が期待される。
環境に優しい観光地としてのPR効果。



エコたびとちぎプロジェクト事業

(プラスチックごみ削減対策事業のうち)

2023年度予定事業

背景・目的

海洋プラスチックごみ問題は、生態系への影響などが懸念される世界的な課題となっている。もり さとかわ うみ

栃木県では2019年に「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を行い、プラスチックのより一層の3R^{*}の促進、適正処理の確保に向けた取組を進めている。

本事業は修学旅行という一生の思い出になる場面において、「プラスチックとの上手な付き合い方」を実践することで使い捨てプラスチックの使用削減を図るものである。

※3R… リデュース、リユース、リサイクルの略

事業概要

修学旅行において定められた環境にやさしい3つの取組を実践する小・中学校等に対し、旅行時に使用できるオリジナルエコバッグと事前学習教材を提供する。

また、学校独自の優れたエコな取組を行った場合は優秀校として表彰する。

期待される効果

使い捨てプラスチックの使用削減等に対する意識の定着を図る。



環境にやさしい3つの取組

歯ブラシ・はみがき粉の持参



マイバッグ・マイボトル^{*}の使用



食べきり・食べ残しの削減



環境にやさしい自動車整備推進事業

2023年度予定事業

背景・目的

- ・本県は2030年までに乗用車の6割を電動車とする目標を掲げている～2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ
- ・電気自動車の急速な普及に伴い、先進技術の整備に対応できる自動車整備士の育成・確保が急務である。

事業概要

- 1 県央産業技術専門校に電気自動車を導入
- 2 従来の整備技術に加え、電気自動車等の整備技術を習得した整備士を養成
- 3 県央産業技術専門校の訓練生に対し、環境配慮に関する授業等を展開
- 4 職業体験やオープンキャンパス、学校祭等のイベントにおいて、カーボンニュートラルに向けた自動車業界の動向や技術理解などの普及啓発活動を実施



電気自動車を導入



自動車整備士養成



普及啓発活動

期待される効果

- ・電気自動車等の先進技術に対応した自動車整備士の育成・確保を推進する。
- ・カーボンニュートラルに対する理解を深め、環境に対する意識向上を図る。

SDGs 推進企業支援事業

2023年度予定事業

背景・目的

持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指し、地域課題を解決する取組を促進するため、SDGsに取り組む企業等を「とちぎSDGs推進企業」として登録する。

事業概要

- 1 「とちぎSDGs推進企業」の募集・登録
- 2 登録企業向け登録マークの交付(企業ブランドの向上等)
- 3 普及啓発のための企業向け経営セミナー
- 4 登録企業向け勉強会

対象者

県内に本社、事務所を有する企業等

期待される効果

SDGsの目標が示すものは、満たされていない世界のニーズ(未開拓の巨大市場)であり、SDGsの目標達成に向けた取組は持続可能な経営への展開につながる。本登録制度をきっかけに、社内全体でSDGsに関する理解が深まり、企業等における取組の加速化につながる。



とちぎSDGs推進企業 登録マーク